

## 地域環境美化功績者功績内容等

県 別	氏 名	活 動 内 容	功 績
北海道	一平会 (いっぺいかい)  代表者 会長 伊瀬 智	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	河川の清掃及び普及啓発活動 13年 10日程度 北海道檜山支庁全域
			釣りクラブ本来の事業である釣り大会などのほか、檜山北部の河川に生息する魚たちの生息環境を守るため、平成5年から毎年、砂防ダム等に設置され、土砂や流木などにより閉塞し機能を失った延べ約90基以上の魚道の清掃活動を行ってきた。 平成10年からは、当会だけのボランティアだけでなく、檜山支庁や道立水産孵化場、漁業者建設業者など広域的に呼びかけ、札幌や函館方面からも約50人程度が参加し、釣り場環境と水産生物の保護に取り組んでいる。 魚道清掃は、マスコミなどでも紹介されたことから、その重要性和維持管理の必要性が理解され参加者は年々増加し、設置者はじめ漁業者にも広がりを見せており、今では漁業者自らが、魚道清掃に取り組んでいる。 これにより、釣り人だけでなく、重要な漁業資源であるサクラマスの自然産卵が可能になり、再生産につながることから、漁業者の経営の安定化にもなっている。 また、平成2年から毎年、ふるさとの清流で釣りや水遊びを体験することで、自然のすばらしさ環境保護への理解を深めることを目的に、次代を担う子供たちを対象にした「夏休みジュニア川釣り体験会」を後志利別川支流の真駒内川で開催しており、帰省客や夏休みの小中学生のお盆の恒例行事として、地域に定着している。 さらに、北海道檜山支庁北部で開催される、河川清掃や植樹祭などの行事にも、会として積極的に参加している。 ○平成17年6月：環境保全活動功労者表彰（知事感謝状）受賞
北海道	ランコ・ウシ尻別川河川愛護の会 (らんこ うし しりべつがわか せんあいごのかい)  代表者 志比川 武	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	河川の清掃及び普及啓発活動 植樹植栽及び緑化普及啓発活動 13年 20日程度 尻別川全域
			当愛護の会は、河川の美化、河川環境の保全、住民参加の地域づくり、河川災害時の水防活動等の協力を努め、各種事業を展開することを目的として発足したものであります。 尻別川の水質保全と自然環境の保護のため、平成6年度から毎年開催されている「尻別川クリーン作戦」において、関係機関及び流域住民と協力し、実施にあたっては主導的な役割を果たしています。 また、河川を通しての地域づくりの一環として毎年開催される「尻別川せせらぎまつり」の運営に積極的に携わっており、魚のつかみどりやイカダ作り、カヌー体験などの川の楽しみ方や演芸、青空フリーマーケット、レスキュー体験、地震体験コーナー等の住民が川と親しみ楽しむイベントを実施し、大勢の住民の参加を得ています。 住民と行政と協働した河川環境保全のための様々な取組、流域住民に対する環境美化意識の啓発活動等により、全国に誇ることのできる貴重な財産であるふるさとの川、尻別川の清流日本一の維持に大きく貢献し、その功績は多大なものが ○平成18年6月：環境保全活動功労者表彰（知事感謝状）受賞

県別	氏名	活動内容		功績
青森県	むつ商工会議所女性会 (むつしょうこうかいぎしよじょせいはい)  代表者 村館 てる子	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	恐山大湊参道の石仏観世音菩薩 33体および地蔵様約20体の衣更 えとその周辺草刈及び清掃 22年 1日 常楽寺境内～市道大平文京町線 一般県道長坂大湊線 主要地方道むつ恐山公園大畑線	日本三大霊場である恐山までの14kmにわたる道路両側に、今から約150年前の昔に設置された石仏観世音菩薩及び地蔵様がある。 これらは、長い年月の雨風のため破損したり、樹木等により隠れた状態となっていた。 このため、むつ商工会議所女性会では、恐山までの道のりにふさわしい尊厳と神秘性を表現し全国から訪れる参拝者の方々の心に深く印象づけるお手伝いとなればという気持ちから、昭和60年6月から「恐山夏季大祭典」前に、これらの石仏観世音菩薩及び地蔵様の古い前掛けと頭巾を回収した後一体ずつ拭いて汚れを取り、新しい前掛けと頭巾に衣更えさせるとともに、周辺の清掃を行う活動を今日まで22年続けてきている。 清掃活動のうち、草刈作業については遠方からでも石仏観世音菩薩がはっきり見えるように広範囲に草刈作業を行っている。 地元では歴史的な文化価値のある恐山大湊参道の保全本もとより、参拝の観光客にも好感を持たれ地域の観光振興にも大きく貢献している。 今後も団体の事業計画書に基づき継続していくものである。  ○平成14年度青森県生活環境改善事業知事表彰受賞
岩手県	八幡平市立平笠小学校 (はちまんたいしりつひらかさ しょうがっこう)  代表者 校長 松村 秀二	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動、各種花苗の植栽各種 活動、桜の植樹、水性生物による 水質調査 32年 毎月第1水曜日のクリーン登校 全校クリーン作戦(年1回)等 学校区内	昭和50年から学校周辺の道路清掃を長年にわたり実施し、地域の環境美化に多大に寄与している。 さらに、平成2年からは学校の行事と併せ、地域住民やPTAの協力のもと、地元松川河川敷の学校マラソンコースの清掃活動を実施し、県知事表彰後には活動をさらに拡げ、登校時の児童による日常的な清掃活動「クリーン登校」を継続して行っている。 また、地元老人クラブと共同で、観光地「焼走り溶岩流」に通じる県道脇等に桜の植樹やひまわりの植栽、剪定などの手入れの実施に努めるほか高学年を中心に水性生物による水質調査に取り組むなど、環境教育の推進を積極的に図っている。 このように、当小学校は地域と一体となって、長年にわたって地域の環境美化に努めるなど、その功績は顕著である。  ○平成12年10月：環境保全功労者知事感謝状 ○平成17年8月：国土交通大臣感謝状受賞

県別	氏名	活動内容	功績	
秋田県	日高 洋行 (ひだか ようこう)  横手市環境美化推進員連絡協議会理事	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	美化活動、不法投棄防止活動 28年  秋田県横手市横手地域 (旧横手市)	昭和53年4月、横手市環境保全監視員として委嘱以来、地域の環境美化活動、不法投棄抑止のためのパトロールなど率先して行動してきた実績は他の模範である。 また、平成8年度からは新たに市長委嘱となった環境美化推進員として就任と同時に同連絡協議会の理事も務められ、地域の清掃やクリーンアップはもちろん、ごみ減量化、ごみ出しルールの徹底など地域美化活動のリーダーとして指導的役割を果たされている。現在は横手市委嘱の環境美化推進員、環境監視員のみならず県委嘱の地球温暖化防止活動推進員としても幅広く活動されている。  ○平成7年10月：秋田県（保健所長）表彰 ○平成15年10月：秋田県（県知事）表彰
福島県	いわき市小浜行政区 (いわきしおぼまぎょうせいく)  代表者 柳葉 聡明	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	ごみ拾い・不法投棄防止 37年間 15日（平成18年度実績） いわき市小浜地区内の道路 及び海岸	・当該行政区では、地域の道路や海岸等、公共空間の清掃美化活動に永年取り組んでいる。  ・市が主催する一斉清掃活動（いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動；年2回）への参加のほか、地域住民一丸となった自主的な美化活動も実施されており、地域住民の環境美化に対する真摯な姿勢が窺われる。  ・特に、当該地区内を通る市道が不法投棄の常習地となっており、防護柵の設置など、抜本的な改善を図るための創意工夫にも努めている。  ・これらの取組みは、他の模範であり、地域の環境美化促進の観点から、功績は顕著である。  ○平成15年度うつくしま、ふくしま環境顕彰受賞
福島県	福島市立御山小学校 (ふくしましりつおやましようがっこう)  代表者 校長 松田 貞夫	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	校内及び地域の環境緑化・美化活動 清掃その他の美化思想の普及啓発活動 9年間 年間23回 学年に応じて分担した学校周辺の除草 ゴミ拾い活動。松川河川敷(緑地公園) 13号線添いの緑化活動	全校生がさまざまな教育活動を通して、地域を題材とした環境学習や環境美化活動に継続して取り組み、地域や環境問題への興味・関心を高めてきた。 また、身近なところから環境をよりよくするために自分たちでできることを実践しようとする奉仕への意識も高まってきている。さらに、今年度は地球温暖化防止キャンペーンとして、児童会の委員会活動の中で、身近なところから実践しようとして「電気はこまめに消そう、いらぬ電気は付けないようにしよう」「水道の蛇口は少しづつ出そう」の放送を毎日行い、全児童への意識化を図ってきた。 これらの活動や取り組みに対しては、地域住民から高い評価を得ている。また、自分たちの地域を見直すような意識の高まりも感じられる。  ○平成18年度うつくしま、ふくしま環境顕彰受賞

県別	氏名	活動内容		功績
福島県	平田村民憲章推進協議会 (ひらたそんみんけんしょうすい しんきょうぎかい)  代表者 永瀬 勝夫	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	花いっぱい運動・環境美化 活動・新生活運動 28年 50日 平田村全域	平田村民憲章推進協議会の主な活動は、毎年花いっぱい運動を展開し、村内全域(国道・県道・村道・花壇等)に環境美化活動として約67,000本を育苗配布し、各行政区の地域住民や子供育成会が創意工夫を凝らし環境美化活動として植栽及び手入れに取り組んでいる。毎年8月には、これらの地域や育成会等を対象にした花いっぱいコンクールを主催し、優秀な団体等を顕彰している。 また、村民憲章推進協議会の呼びかけで、毎月第4土曜日を環境美化の日として、地区ごとに家庭・ごみの集積所等の清掃活動や故郷の美しい川を取り戻すためごみのない美しい故郷を子供達に残そうということで、各行政区単位で小・中学生も毎年参加し、7月の第一日曜日を村内一斉清掃日として河川敷に不法投棄された空き缶、紙くず廃プラ、雑草の刈り払い、公共施設や水路の清掃も併せて行うなど、地域の環境美化に積極的に取り組んでいる。
福島県	児渡行政区 (にどぎょうせいく)  代表者 山口 憲紹	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地区内の環境美化運動の推進 19年間 5回 のべ人数365人 地区内、国道294号沿線、 釈迦堂川河川敷	地区内の国道294号線沿いの堰堤約1kmの区間に地区住民により、平成元年桜の苗木を植栽した。これらの管理については年2回の周辺草刈作業、肥料の追肥、剪定作業を実施している。 また、これらの国道1kmに亘り、両側の法面を7月と9月に草刈作業を実施し、環境美化活動を展開し、桜開花の時期には観光客も足を止めるほどとなっている。  ○平成15年10月：県地区衛生組織連合会長・日本公衆衛生協会県支部長連名表彰受賞
茨城県	下川 愛之助 (しもかわ あいのすけ)	従事年数 年間活動日 活動範囲	15年以上 200日 本人が居住している中妻 小学区、華川中学区域	氏は、週3～4日、道路・公園等の公共施設をはじめ、自宅周辺に捨てられたゴミの回収を行うとともに、地域内のゴミ集積所においても、ゴミの分別を指導している。 また、住民に呼びかけ、年3回の定期的な団地内の清掃や、用水路の汚泥の除去作業、道路沿いに伸びた立ち木の枝落としなどの活動を行い、地域住民の環境美化意識の高揚に努めている。 最近是小中学校の生徒たちと空き缶回収を行いその売却益により学校で使用する運動用具を購入する活動も行っている。  ○平成15年度：茨城県環境保全功労者表彰

県別	氏名	活動内容		功績
栃木県	宮本 力好 (みやもと りきよし)  大田原市保健委員会 会長	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	33年 40日 大田原市内全域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和48年4月より保健委員として地域住民の保健衛生に関する意識の向上を目指し、自ら地域住民をリードし、保健衛生の推進に努めた。</li> <li>・平成5年度に西原自治会は、ごみ減量化に伴う指定袋による実験地区に選出され、平成6年度に指定袋による5種9分別が大田原全地区に導入された。</li> <li>・昭和50年から始められた、環境保全地区内の全員参加による毎月1回の定期清掃は現在に至る。</li> <li>・平成6年から始められた、資源ごみ回収団体による収集活動についても現在に至る。</li> <li>・平成16年10月大田原市道路の里親制度に西原自治会衛生部として加入して以来、現在に至る。</li> </ul> <p>○平成6年：栃木県知事表彰受賞</p>
群馬県	粕川フラワーロードの会 (かすかわふらわーろーどのかい)  代表者 高橋 美律子	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	環境美化活動 17年以上 基本的には毎週日曜日の午前中 だが、平日も随時行う 粕川の堤防、駅前中心市街地	<p>ゴミの不法投棄防止や道行く人の心のやすらぎを目的に、粕川土手等に花を植栽する環境美化ボランティア団体。1990年頃から個人の活動が始まり、だれもが気軽に参加できるようにと平成14年に団体に組織化した。</p> <p>平成15年、産業廃棄物の不法投棄の名所であった伊勢崎市日乃出町粕川右岸にサルビアを植栽し“サルビアの道”が誕生、今夏5年目を迎える継続事業である。平成16年、群馬県で最初のアダプトプログラムモデル事業を受け、伊勢崎市下植木町粕川右岸にある約850㎡の荒れた廃川敷(県有地)に、四季折々の花の咲くコミュニティーガーデンを造成し年間を通し植栽管理している。また、平成18年には殖蓮橋西詰めにフラワーポケットを造成、川の中のゴミ拾いも随時行っている。</p> <p>これら約2キロに渡る「粕川流域花の道」は平成20年開催の第25回全国都市緑化ぐんまフェアのサテライト会場に認定された。また、荒れた駅前花壇や道路工事現場の植花、中心市街地や福祉施設への癒しのガーデンづくり、県地域環境学習会や園芸教室の開催など、企業や地域とパートナーシップを組み、花緑に関わる事業を積極的に展開している。</p> <p>○平成16年：群馬県環境功績賞受賞</p>
群馬県	高崎市立倉渕川浦小学校 (たかさきしりつくらがわ うらしょうがっこう)  代表者 校長 高橋 和幸	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	緑の少年団、愛鳥モデル校 29年(緑の少年団) 24年(愛鳥モデル校) 5月、8月、11月、12月 小学校近隣、村内キャンプ場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和52年に「緑の少年団」第1号として指定され、以来、現在に至るまで欠かさず活動を続けている。</li> <li>・全学的組織として積極的に取り組み、時に生徒の家族も交えて活動している。</li> <li>・県愛鳥モデル校(昭和57年指定)、鳥獣保護事業指定校として自然保護活動を継続実施している。</li> <li>・鳥獣保護活動優良団体として県知事表彰を受賞した。</li> <li>・主な活動としては、巣箱づくりと巣箱かけ、野鳥観察、ヤマメの育成と放流を毎年開催している。</li> <li>・ごみの処理や散乱防止に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・平成17年度から森の文化祭を開催している。</li> </ul>

県別	氏名	活動内容		功績
埼玉県	<p>新方川をきれいにする会 (にいがたがわをきれいにするかい)</p> <p>代表者 会長 高野 和夫</p>	<p>活動</p> <p>従事年数 年間活動日 活動範囲</p>	<p>河川美化活動、河川浄化に係る啓発活動</p> <p>15年11ヶ月 100日程度 新方川</p>	<p>・河川美化活動</p> <p>1, 新方川をきれいにするため、設立以来、月1回、河川敷・川底の清掃活動及び水質検査を実施。</p> <p>2, 毎月第一日曜日、ゴミの不法投棄を防止するため、河川パトロールを実施。</p> <p>・啓発活動</p> <p>1, 地域住民を対象に、川の環境保全について勉強会やセミナーを随時開催。</p> <p>2, 平成13年2月から、地元小学生が作成した啓発用看板を設置(現在18ヶ所)。</p> <p>3, 平成13年10月から、地元の小・中学校の総合学習に「ゲストティーチャー」を派遣。</p> <p>4, 平成16年4月から、会報「新方川だより」を発行。</p> <p>・県の水環境行政への協力</p> <p>1, 埼玉県河川浄化団体連絡会に加盟。平成17年からは高野会長が連絡会会長に就任。</p> <p>2, 平成18年度、埼玉県の「綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦」の取組に参加。推進母体である「綾瀬川水質とことん改善推進会議」の一員として、事業の企画立案・推進に積極的に関与した。</p> <p>3, 上記「大作戦」の活動の一環として、「ゲストティーチャー」の経験に基づく環境学習の指導案を作成。越谷・さいたま市内の12の小中学校に講師を派遣した。</p> <p>○平成16年11月：埼玉県知事表彰受賞</p>

県別	氏名	活動内容		功績
神奈川県	西原 徹 (にしはら とおる )  クリーンよこすか市民の会会長	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	地域環境美化に関する啓発活動、 実践活動 26年 通年 横須賀市内全域	<p>〈地区での活動〉          昭和55年に町内会長就任以来26年間、また大津地区連合町内会会長、クリーンよこすか市民の会大津地区会長に就任後も、地域の一斉清掃、資源回収、美化キャンペーン等に先頭に立って活躍される等クリーンよこすか運動の推進に尽力されまちの美化推進育成に多大な貢献をしている。</p> <p>〈地域住民等に与えた影響〉          ごみ問題や美化推進運動を市民生活に身近な環境問題としてとらえていなかった地域住民に対しごみの減量・再資源化・町の美化運動等の推進が必要であると啓発された事により、美化思想を高揚させることになった。</p> <p>〈全市的な活動〉          クリーンよこすか市民の会会長就任後は、市民のつどい・中央会議の実施計画段階から当日の進行まで、また会の会議では企画から参加しているほか、ポイ捨て防止街頭キャンペーンでは自らポイ捨て防止を訴え、啓発活動を行っている。          また、クリーンよこすか運動のあり方について将来に向けた新たな発展の方策についての検討会則の見直しをするなど、常に問題意識を持って取り組んでいる。</p> <p>昨年、目に余るポイ捨て行為を防止するため、市にポイ捨て禁止条例の一部改正強化を提言、陳情するなど市民協働という形で多くの成果を挙げており、その功績は多大である。          単にごみを拾うだけでなく、捨てさせないことを基本としたまちの美化を推進し、住みよいまち横須賀の愛市運動に高めるなど、従来の考えにとられない、新しい、柔軟な発想は当運動のリーダとしてメンバーから尊敬されている。</p> <p>以上、地区活動、全市的な活動の指揮官として長年尽力され、優れた指導性と献身的な実践活動は、絶大な信頼があり、まさに名実ともに、横須賀市全域の美化活動啓発・推進の中心的指導者として、当運動の発展に無くてはならない存在である。</p> <p>○平成13年：神奈川県美化運動推進功労者表彰</p>

県別	氏名	活動内容	功績
神奈川県	小田原市矢作自治会 (おだわらしやはぎじちかい)  代表者 中村 茂	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲  地域環境美化清掃 32年 年間30回程度 矢作自治会内の神社 公園、河川など	昭和50年から「小田原をきれいなまちにしよう」を合言葉に自治会会員相互の親睦と環境美化を推進するため、毎月2回矢作自治会内の神社境内や児童公園の美化清掃を行うとともに、毎年5月・8月に地域の河川(菊川)の土手及び神社の草刈、美化清掃を実施している。 また、概ね1週間に1度のペースでごみステーションの巡回パトロールを実施し、地域の環境保全に努めている。 こうした美化活動に多くの自治会員が参加することにより、会員相互の連帯感や環境美化意識の向上に加え、美化活動を行う方々の姿を通して、自治会員以外の住民の地域環境に対する意識が啓発されて活動の輪が広がっている。 地道な地域の環境美化活動を30年もの長きに渡り、継続することは他の模範であり、その功績は大きいものである。  ○平成14年11月：神奈川県美化運動推進功労者表彰
富山県	富山市草島町内会 (とやましくさじまちょうないかい)  代表者 会長 藤井 義昭	活動 従事年数 年間活動日  清掃活動及び清掃美化 意識の普及啓発活動 34年 6月～8月を中心	・草島町内会は、昭和48年に設立以来、『快適で美しいまちづくり』を合言葉に、地域の環境をまもるため、地域の環境美化活動の中心となって、積極的に清掃活動や保健衛生活動に取り組んでいる。 ・県が提唱している「県土美化の日」などに特別清掃活動を実施するなど、その積極的な姿勢は他の模範となっている。 ・『花いっぱい運動』を展開し、自治公民館(高砂会館)付近や各主要道路に、花壇を設けるなどきれいな町づくりを進めており、「富山市花いっぱいコンクール」に平成14年度から毎年入賞するなど、緑化活動にも積極的に取り組んでいる。  ○平成15年4月：富山県知事表彰受賞
山梨県	株式会社 オーテックメカニカル (かぶしきがいしゃ おーてっく めかにかる)  代表者 芦澤 邦秀	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲  地域清掃、社内取組みによる環境保全 14年 清掃：月1回(毎月1日) 社内環境保全はその都度 会社内及び会社周辺、近隣区内	平成5年より、会社周辺及び近隣区の清掃活動を開始し、平成10年には経営計画発表会において「地球環境にやさしいことをする」ということを明文化し、毎月1日に会社周辺の道路、側溝などはもちろん近隣区の公園、神社等地域に根ざした場所のごみ拾いを社員一同で行い、「ひとり50個以上」のごみ(人工物に限る)を拾うまで帰社できないというユニークな取り組みで地域の環境美化及び地域住民の環境美化意識の普及啓発に貢献している。 また、社内においては、コピー用紙の両面使用はもちろん、排出されるごみの分別も徹底しておりリサイクル活動も熱心にごみ減量化にもよく取り組んでいる。また年々深刻化している地球温暖化に対しても、地球の環境を守る森林・緑の大切さを認識し毎年「緑の週間」には募金を行っている。さらに会社全体のCO2排出削減にも取り組み、社内環境整備員を配置し、エアコンの適正温度のチェックや蛍光灯を半数取り外す、必要以外電気を付けない等、地球環境にも配慮した会社づくりを行っていることは他の模範になるところです。  ○平成13年6月：山梨県環境保全功績者表彰受賞



県別	氏名	活動内容		功績
山梨県	組合立 河口湖南中学校 (くみあいりつ かわぐちこなんちゅうがっこう)  代表者 校長 奥脇 義徳	活動 従事年数 活動範囲	清掃 27年間(ここ数年は年一回) 河口湖畔清掃	昭和56年より27年間全校体制で河口湖畔の清掃活動を行っている。また平成元年より富士河口湖(旧河口湖町)主催の湖畔清掃(名称:クリーンアップキャンペーン)に参加し河口湖の自然を大切にすることを高めている。また平成9年より総合的な学習の一環として1学年では富士河口湖町の自然、特に河口湖や富士山の環境(樹海や洞窟、環境科学センターと周りの自然)について学び、2学年では宿泊学習に於いて静岡県・焼津港の周りの海についての環境を学び自然についての理解を深め、3学年では修学旅行に於いて原爆が投下された広島県の環境について学び戦争の悲惨さを現地の原爆体験者からの話を聞いたりした。このような活動を通して今住んでいる地域全体の環境保全に対する意識を高めてきている。  ○平成13年6月:山梨県環境保全功績者表彰受賞
岐阜県	飛騨市女性会宮川支部 (ひだしじょせいかい みやがわしぶ)  代表者 大下 静江	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	道路河川の清掃活動 50年間 年2回 一級河川宮川	昭和31年9月の発足当初から、ふるさと美化運動の一環として「道路河川の清掃活動」に力を注ぎ、50年間続けられている。 平成6年10月8日、岐阜県知事・岐阜県古川土木事務所長・岐阜県教育長のそれぞれから感謝状を受賞。 平成19年6月には、富山一級水系水質汚濁対策連絡協議会から優良団体表彰を受けられる予定。
静岡県	遠藤 節子 (えんどう せつこ)  三島花の会 会長	従事年数 年間活動日 活動範囲	17年8ヶ月 32日 花壇管理活動、緑の募金活動、市内清掃奉仕活動、視察研修など	平成元年から三島花の会会長として会員200余名の先頭に立ち花いっぱい運動の推進を実施している。三島市内の公共花壇(3ヶ所)の植栽・管理や専門家を招いての花づくり講習会の開催、市街地の街路の清掃なども行っており、個人の知識の向上だけでなく各会員が地域の緑化リーダーとして活躍できるよう務めている。 また、平成5年から静岡県花の会連合会副会長、平成8年から静岡県緑化推進協会理事を務め、県内の環境緑化活動の推進にも多大な貢献をした。 なお、緑化に関する活動のみならず、消費生活に関する活動も積極的に務められ、各種表彰を受賞している。  1 緑化活動に対し、個人として表彰等を受けているもの 平成14年11月 静岡県知事表彰 環境保全功労 受賞  2 三島花の会として表彰等を受けているもの 平成13年4月 みどりの愛護活動 感謝状 平成19年2月 三島市景観賞受賞 平成19年3月 静岡県グリーンバンク30周年記念表彰 受賞  3 個人として他の活動で表彰等を受けているもの 平成6年4月 三島市市長功労者表彰 受賞 平成6年5月 消費者保護知事褒章 受賞 平成13年5月 静岡県消費者保護功労表彰

県別	氏名	活動内容		功績
愛知県	生地川美化推進会 (いくじがわびかすいしんかい)  代表者 波多野 彊志	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	河川の浄化活動及び清掃活動 美化思想の普及啓発活動 20年 18日程度 生地川の池合橋から八幡橋まで	毎月実施している「河川パトロール」では、pH（水素イオン濃度）、COD（化学的酸素消費量）及び透明度を測定することによる水質異常や不法投棄の監視を行うとともに、空き缶等のゴミの回収や河川の生息動物の調査を行った。また各町内会の集会等においては、活動状況の報告を通じて生活排水対策の啓発を行った。さらに、年2回開催される「クリーン作戦」では、ゴミの回収を行った。以上のように、環境保全活動の推進に多大な貢献をされた。  ○平成18年6月：愛知県知事表彰受賞
京都府	京都府福知山市立夜久野中学校 (きょうとふ ふくちやましりつ やくのちゅうがっこう)  代表者 校長 足立郁郎	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	地域環境美化活動（アルミ缶回収） 14年目（H6年度活動開始） 毎週水曜日、その他 夜久野町地域	中学校の統合により平成5年4月に夜久野町立夜久野中学校として、新しく開校し、「新しい伝統と地域社会で自分達に何かできることはないか。」という生徒会の声により、アルミ缶の回収が始まった。以来この活動は生徒達に受け継がれている。 アルミ缶の回収は、PTAや地域住民にも広がりを見せ、学校に直接搬入されるケースもある。また小学校の参加もあるなど多くの方の支援や支持を受け、これまでの回収量は18,975kgを超える。 回収されたアルミ缶は、換金後、学区内にある福祉施設へ車椅子や歩行器、エアーマット等を贈る運動へと繋がり、その際、車椅子の取り扱いなどを生徒自らが体験し学ぶなど、相手を思いやる心の交流へとその広がりを見せている。 地元で開催されるイベントでは、ごみ回収ボックスを設置し、出されるごみの分別指導や回収を行いごみ分別の大切さを住民に伝えている。また、平成14年度からは、駅やバス停、公園等でごみ拾いを始め、ふるさとクリーン大作戦として定着している。  ○平成16年6月：京都府環境保全功労者表彰
奈良県	米田 寿正 (こめた としまさ)	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園、道路等の清掃活動 26年 ほぼ毎日 橿原神宮西参道及び周辺道路 歩道、側溝	橿原神宮周辺の落ち葉や参拝者及び観光客のポイ捨てゴミに心を痛めていた氏は、昭和56年より、当初は週1回程度、橿原神宮西参道及び県道見瀬五井線の参道入り口付近の清掃活動を開始した。昭和62年からは毎日のように清掃活動を行うようになった。 現在は橿原神宮職員が西参道奥の部分を清掃するようになったため、氏は西参道入り口より150m程度及び県道見瀬五井線の参道入り口から北50m、南20mの範囲で道路、歩道及び側溝の清掃を午前中に2時間半程度行っている。 氏は、参道が砂利道のため落ち葉と砂利の選別に苦労をしたり、降雨により側溝に堆積した汚泥や落ち葉を毎日のように掻き出すなどの困難な作業を労苦をいとわずに行っている。 現在は、このような氏の長年に渡る実直かつ地道な活動に近隣住民も賛同して、清掃活動に参画するようになっている。 氏の長年に渡る活動は、地域のコミュニティづくりに寄与しており、地域の環境美化に大きく貢献している。  ○平成10年11月：クリーン・グリーン実践者表彰受賞（知事表彰）

県別	氏名	活動内容		功績
奈良県	社団法人ガールスカウト日本連盟 奈良県支部第6団 (しゃだんほうじんがーすかうとにほん れんめいならけんしぶだいろくだん)  代表 団員長 松井 ひろみ	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	公園、道路等の清掃活動 33年 月1~2回 下市八幡神社及び千石橋周辺	昭和49年4月にガールスカウト奈良県第6団が結成された。奈良県下市町・大淀町・吉野町・川上村の地域の子供と大人たちで構成されており、結成当時より現在まで月1~2回行われている集会などの機会を利用して、活動の拠点となっている下市八幡神社周辺の清掃活動を行っている。 また、年に1回、奈良県吉野地域における観光の玄関口と知られている千石橋周辺でも、観光客などが気持ちよく来訪できるように清掃活動も実施している。 結成当時から長年に渡る地道な活動は、多くの子供たちに美化意識の向上と美化活動の大切さを伝えることとなっている。また、来訪者を気持ちよくもてなしており、美しく温かいまちづくり・ひとづくりに大きく貢献している。  ○平成11年11月：クリーン・グリーン実践者表彰受賞（知事表彰）
鳥取県	大山の美化を推進する会 (だいせんのびかをすいしんするかい)  代表者 会長 山口 隆之	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	大山エリアとその周辺の美化清掃 30年 4日 大山の国立公園地内とその周辺	・一斉清掃の参加者は毎回100団体、700~1000人を数え、参加団体も県西部を中心に国・県市町村等の関係行政機関はもとより、子供会、スポーツ少年団小・中・高等学校から老人クラブ、民間企業、自衛隊等多岐にわたり、県境を越えた鳥根・岡山からの団体参加もあり広範囲な取り組みに発展させた。  ・活動当初においては、年間5~6tにも及ぶゴミを回収していたが、近年はゴミの投棄量も激減し1t未満の回収実績が続いている。これも今日に至るまでの本会の永年に亘る継続的な美化運動・自然保護運動が大山を訪れる人々に浸透してきた成果と考えられる。 本会から派生した「大山の頂上を保護する会」による、一木一石運動等の全国に誇る自然保護運動が生まれるなど、周辺の自然保護運動の促進に大きく寄与し  ○昭和61年8月：自然保護功労者表彰（知事表彰）
広島県	海越女性会 (かいごしじょせいかい)  代表者 水谷 徳枝	活動  従事年数 年間活動日  活動範囲	地区環境衛生改善活動 海浜清掃活動 約50年 海浜清掃活動6日間 資源集団回収活動70回程度 地区老人ホームの草刈り奉仕1日 蚊の駆除3日 倉橋町海越地区	昭和20年代に、倉橋町海越地区の女性により結成されて以来、約50年にわたり地元の海浜清掃を実施している。毎年春から秋（5月から10月）にかけて、月1回程度、会のメンバーほぼ全員で清掃活動を行うほか、7月の「海の日」に合わせた活動では、地域の役場や漁協とも連携して清掃を行うなど、地域における環境保全活動として定着している。 平成14年には、県内の海浜で環境保全活動をボランティアで行う団体「せとうち海援隊」（広島県事業）として認定を受け、担当地区の海浜清掃だけでなく、生物調査活動も開始、継続している。平成15年には、倉橋町で開催されたシンポジウム「瀬戸内海の暮らしと環境体験学習 in 倉橋」において、活動内容を発表するなど、地域の模範的活動として紹介された。 また、近年では、清掃時に回収したペットボトルや空き缶などは、中を洗浄し、分別・再資源化に取り組むなど、循環型社会の構築にも寄与している。 この長年の地道な活動が評価され、平成15年には環境省水環境部長賞、平成17年には「ひろしま環境賞」（県知事表彰）を受賞し、その功績が称えられている。 当団体の長年にわたる清掃・美化活動は、海浜状態を良好に維持し、瀬戸内海の汚染を防ぐだけでなく、他の地域住民への意識の高揚にも貢献しており今後も継続的な活動が見込まれている。 また、昨年9月からは、新たに月1回のアルミ缶回収と毎週1回の紙類の資源集団回収活動を開始しはじめ、半年間の活動は30回以上にも及んでいる。今後、海浜清掃と合わせ、循環型社会の構築のため、地域での積極的な資源リサイクル活動にも成果が期待されるものである。  ○平成17年6月：ひろしま環境賞（県知事表彰受賞）

県別	氏名	活動内容	功績	
山口県	<p>きれいなまち・萩推進市民会議 (きれいなまち・はぎすいしんしみんかいぎ)</p> <p>代表者 鬼村 良子</p>	<p>活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> <p>12年 月2回、年23回 萩市内全域</p>	<p>国県市道及び公園・河川海岸等</p>	<p>平成6年、日本一ごみのないまち・萩の実現を目標に市民有志が集いその年の3月に発足し清掃活動を開始する。それ以降、月1回の市民会議を開催(活動の反省や情報交換等)し、毎月2回の清掃活動は各地域に赴き、多くの地域住民が清掃活動に参加している。また、毎年「美しいまち萩実現市民大会」を開催し多くの市民が清掃活動を行っている。これは、萩市が「ごみのないまち・萩」を宣言する起爆剤となった。</p> <p>この活動も13年が経過し、多くの地区住民の協力が得られ萩市内にポイ捨て等があると自主的に清掃されるようになった。</p> <p>平成17年3月に市町村合併により区域が拡大し現在、きれいなまち・萩推進市民会議は清掃活動箇所を旧町村部まで広げて、本運動が新市全体に及ぶことを目標に掲げて積極的に行動を興されている。</p> <p>○平成13年 環境美化(山口県知事表彰受賞) ○平成16年8月 道路愛護(国土交通大臣表彰受賞)</p>
徳島県	<p>大久保谷川クリーンクラブ (おおくぼだにがわ クリーンくらぶ)</p> <p>代表者 会長 枝澤 貞夫</p>	<p>活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p> <p>13年 12回(毎月1回) 大久保谷川河川敷及び沿線</p>	<p>河川(大久保谷川)の清掃活動</p>	<p>平成5年に発足以来、地域を流れる大久保谷川の清掃活動に継続して取り組んできており、美しい河川環境に大きく貢献している。</p> <p>また、平成11年にスタートした「アドプト・プログラム吉野川」にも当初から参画するなど、その後の県内における河川環境活動の普及の先鞭となる取り組みを進めてきた。</p> <p>「自らの手で美しい環境をつくろう」をテーマに、住民の協力と主導による快適な地域環境づくりのための活動を進めている。</p> <p>毎月1回の清掃活動を中心に、研修会や生活排水浄化活動などに長きにわたり取り組んでいる。</p> <p>・大久保谷川の清掃活動：毎月1回実施 (H11よりアドプトプログラムへの参加)</p> <p>・機関誌の発行 ・大久保谷川の再生活動：ピオトープづくり ・研修会の開催 ・生活排水浄化の取り組み など</p> <p>○平成15年10月：とくしま環境賞受賞</p>

県別	氏名	活動内容		功績
香川県	坂出市立岩黒小中学校 (さかいでしりついわくろしょうちゅうがっこう) 代表者 校長 宮本 章壽	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動(クリーンアップ活動) 米ぬかEM発酵液による海水浄化 清掃活動…平成元年～ 海水浄化…平成14年～ 清掃活動…毎月1回 海水浄化…月2～3回 海岸と島内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンアップ活動に向けて、岩黒島全家庭34プリント」を配付し、当日の朝は放送で呼びかける。その結果100名のうちほぼ全員が参加経験をもつことになった。幼児からお年寄りまで家族そろって参加している家庭も多い。</li> <li>・クリーンアップ活動の範囲を『岩黒港・岩黒小中学校・黒浜・西浦・岩黒島北道路・初田神社・島内の溝』とし、状況に応じて重点箇所を決めて取り組んでいる。</li> <li>・全校生でEM発酵液を醸造して、下水溝や港に定期的に流している。また、学校のトイレや学校園にも定期的に流すことで、トイレの臭いが消えたり、糖度の高い野菜が収穫できたりしている。</li> <li>・地域の方が自由に持っていけるようにしているEM発酵液の利用者も増えている。</li> <li>・18年3月～19年3月の1年間にEM発酵液を1回に100ℓずつ35回で3500ℓ作成して活用することで、今まで港にいなかった「あさり」がもどってきた。</li> <li>・平成16年には、『全国環境教育研究大会』で研究発表を行なった。</li> <li>・全校生と地域の方の地道な取組が評価され、平成17年に『第6回環境美化優良校等表彰優秀校文部科学大臣奨励賞散乱防止部門』を受賞した。</li> </ul>

県別	氏名	活動内容		功績
香川県	直島町立直島小学校 (なおしまちょうりつなおしましょうがっこう)  代表者 校長 西 康比古	活動  従事年数 年間活動日  活動範囲	どんぐり銀行直島町臨時支店の設立及び植樹活動  7年 苗木の植樹：毎年1回(2日) どんぐり銀行解説：毎年1回開設 地域のクリーン活動：年数回 直島町内	<p>直島町は、製錬所を有することから長年にわたって環境保全に留意し、島内の緑化に努めてきた。そのような経緯を踏まえ、直島小学校は積極的に学校緑化を進めてきており、現在は循環型社会を担うエコタウンの中心的存在として、ホタルの飼育やクリーンボランティアなど、多様に活動の幅を広げている。</p> <p>・学習指導要領に総合的な学習の時間が位置づけられたのを機会に平成13年に直島を美しい島にしたいという願いのもと、直島町の緑化推進計画や地域の有志の方々の「どんぐりネットワーク(直島ランド)設立の趣旨に賛同し、全校生に呼びかけ「特定非営利活動法人どんぐりネットワーク」に参加することになった。そして、同年11月に本校にどんぐり銀行直島町臨時支店を開設し、全校生が集めたどんぐりを「どんぐり銀行」に貯金した。</p> <p>・平成14年11月11日、第2回目のどんぐり銀行直島町臨時支店を開設し、どんぐりを貯金した。2年間集めたどんぐりを「ヤマモモ」「コナラ」「クヌギ」300本の苗木に還元し、平成15年3月11日に直島町ヘキ地区に4・5年生が植樹を行った。</p> <p>・平成15年11月26日に第3回目の同銀行を開設した。平成16年1月13日未明に発生した山林火災で島の約15%が焼失したため、その無残な焼け跡の復興を願い、早く緑の島にしようと同年3月15日に「クヌギ」「ヤマモモ」など250本を文教地区の焼け跡に4・5年生が植樹した。</p> <p>・平成16年6月19日に5年生が総合的な学習の時間に幼児学園前の山林に植樹しているところをOHK放送が制作した番組「豊かさを求めて『瀬戸内海国立公園の70年』」の中で全国に放映された。また同年11月29日に第4回目の同銀行を開設した。さらに平成17年3月8日に文教地区焼け跡にアジサイ、けやき、もみじ等約300本を4・5年生が植樹した。</p> <p>・平成17年12月12日に第5回どんぐり銀行を開設した。18年3月9日に文教地区焼け跡にヤマザクラ、クヌギウバメガシ、コナラ計70本及びどんぐり多数を4・5年生全員で植樹した。</p> <p>・平成18年11月15日にどんぐり銀行を開設し、約14万どんぐりを集めた。19年3月13日に文教地区焼け跡にアカマツ、ヤマザクラ、イロハモミジ、ツバキ等100本及びどんぐり多数を4・5年生全員で植樹した。</p> <p>○平成16年度：香川県緑化功労者受賞</p>

県別	氏名	活動内容		功績
香川県	和泉 宏 (いずみ ひろむ)  善通寺市環境推進連合会 会長	活動 従事年数 活動範囲	善通寺市環境推進連合会 17年 香川県内	<p>同氏は、長年にわたり、善通寺市の環境美化・環境保全活動に取り組み、現在は、善通寺市環境推進連合会の会長として、市の更なる環境美化・保全や市民の環境意識の高揚・啓発等に尽力している。市環境推進連合会長としては、資源ごみ分別の徹底指導はもちろんのこと、ごみ不法投棄防止のための巡回指導も行いポイ捨てのないまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>また、河川浄化にも取り組み、平成13年からほうどん製造のため汚染された川に河川浄化微生物を自ら培養し、毎週月曜日に川へ投入し、美しい川を取り戻した。</p> <p>活動は河川浄化だけでなく、住民に河川清掃への参加を呼びかけ、率先して実行している。</p> <p>さらに、現在、市が平成12年から推進している『生ごみリサイクル事業』にも積極的に協力し、自ら生ごみリサイクルリーダーとして、さまざまな生ごみ処理方法を地域住民に指導するなど、住民のよき相談者となっている。</p> <p>このように、同氏の地域の指導者として、住民の先頭に立ち率先して活動する姿は、住民の模範であり、市民総参加が前提となる当市の環境保全・美化運動に大きく寄与し、その功績は多大である。</p> <p>また、同氏は環境面だけでなく、地域での老人介護活動や通学時のこどもの交通安全パトロールなどボランティア活動も積極的に行っている。</p> <p>○平成18年憲法記念日知事表彰</p>
愛媛県	八幡浜市立川之内小学校 緑の少年団 (やわたはましりつかわのうちしょう がっこう みどりのしょうねんだん)  代表者 菊池 慎吾 (6年生) (校長 河野 和恵)	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	道路環境美化 28年間 100回 学校前から夜屋トンネル までの国道	<p>学校周辺や学校前から夜屋トンネルまでの国道197号線沿いにサルビア等草花を設置するなどの緑化活動や道路の清掃活動に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和60年 全国花いっぱいコンクール 優良表彰</li> <li>・平成4年 えひめ花いっぱいコンクール 優良表彰</li> <li>・平成6年 緑の少年団 国土緑化愛媛県推進大会で感謝状</li> <li>・平成15年 緑の少年団 県知事表彰</li> </ul>
愛媛県	松山市中西内区 (まつやまし なかにしうちく)  代表者 区長 重松 勝之	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃 32年間 月4回(年48回) 区内	<p>地区が一丸となって環境美化活動に取り組んでおり、地区で実施する清掃活動等の行事には、多くの人が参加するなど温もりのあるコミュニティが形成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成6年 2月 省資源生活環境部門 県省資源・住民活動推進大会優良活動表彰</li> <li>・平成8年10月 生活環境づくり功労者知事表彰</li> </ul>

県別	氏名	活動内容		功績
長崎県	富の原1丁目町内会 (とみのはら1ちょうめちやうないかい)  代表者 鶴丸 浩三	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃 32年間 30日 長崎県大村市富の原1丁目内 公園及び富の原小学校周辺	昭和49年11月5日発足以来約32年間に渡り町内全域の環境美化、住民の健康増進及び公衆衛生の向上に努めている。 また、町内会行事として、清掃(煙霧消毒含む)健康講座を年2回実施している。 なお、富の原小学校の開校に伴う校内及び周辺の清掃も実施し、町内会の融和と親睦をはかり、他の模範となっている。  ○平成18年10月：長崎県環境美化功労者表彰
長崎県	西尾 弘毅 (にしお こうき)  自営業	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃及び花苗植栽事業 24年 365日 佐々町中央地区の国道・県道・ 町道・公園・駐車場・トイレ等	昭和57年から現在に至るまでの24年間、毎日早朝の1時間欠かさず佐々町中央地区の道路・公園などの美化清掃を続けており、地域の環境美化に貢献されている。平成12年からは花いっぱい運動事業の一環として、年2回300本の花苗を道路沿いに植栽を続け現在に至っている。西尾氏の活動により景観のよききれいな町として他市町村からも好評である。 平成17年10月には「生ごみ堆肥リサイクル講習会」を商工会関係にも実施し、地域住民への環境問題にも尽力されている。西尾氏の活躍は清掃活動のみにとどまらず多岐分野にわたっており、環境美化の貢献は町としても大変恩恵を受けており、その功績を称え、ここに推薦する。  ○平成12年 8月：建設大臣表彰(道路美化運動) ○平成18年10月：長崎県環境美化功労者表彰
熊本県	下名連石自治振興会 (しもなれいしじちしんこうかい)  代表者 会長 松岡 和人	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	植栽、通学路の草刈等の環境美化活動 都市と農村の子どもの交流を通じた合 同環境美化活動、水保全学習 等 8年 20日~100日 山都町下名連石地域および 山都町内	自主的な地域振興に取り組む組織として平成11年に設立、山都町下名連石地域(旧矢部町)の環境美化を中心に活動を行ってきた。その多くは、コスモス等の植栽やその管理、河川や町内の道路の草刈りなどであり、環境美化活動は年に10回をこえる。最近では、「自然」「くらし」「文化」をテーマに各種団体とも交流を行い、学び、出会い、感動の場として活動内容が充実している。平成18年4月からは青少年や美年会、老人会の世代間交流事業を実施。地元矢部高校の生活・園芸科とタイアップし、植栽やその管理、町内の矢部観光協会や矢部走ろう会の参加協力を得るなど地域外へも活動が広がり昨年は閉校した校舎を利用し、こども村2006を開村。都市と農村の子どもたちの合同環境美化活動や水保全学習等を実施した。こうした取り組みの結果、子どもたちに感動する心や思いやりの気持ちが芽生えてきている。また、地域のポイ捨てがなくなり、来訪者から気持ちよく通れる地域という声が聞かれている。  ○平成18年8月：道路功労者国土交通大臣表彰(感謝状)



県別	氏名	活動内容		功績
大分県	三重町くらしを考える会生活学校 (みえまちくらしをかんがえるかいせいかつがっこう)  代表者 会長 豊田 英子	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	食用廃油を利用した石鹸づくりに よる三重川の河川環境浄化活 20年 毎月第2・4火曜日 9時～14時 豊後大野市三重町	昭和62年に、住みよいふるさとづくりを目指しごみの分別収集や資源ごみの 回収など環境問題に取り組む会を結成。環境問題を学習する過程で、生活排水の 汚濁原因の中で食用廃油の汚濁負荷が最も高く、三重川が生活排水で汚れている ことを知り、平成2年に食用廃油石けんの先進地である水俣市を見学、同年、三 重町が機械の購入費を予算化、7月に「みえっ粉工房」を開所し石けんづくりを 開始した。 毎月2回の石けんづくりを実施しイベントで無料配布するほか、環境学習の場 「みえっ粉教室」の開催、他団体の視察受入れを積極的に行っており、三重川の 浄化及び地域住民の環境保全意識の向上に奇与している。 【河川環境の改善活動】 ・食用廃油を利用した石けんづくり 作業日・時間・人数：毎月第2・4火曜日、年間 24回、9時～14時 製品の量：粉せっけん 800kg 固形せっけん 3,000個  【環境学習の場の提供と環境保全の啓発活動】 ・みえっ粉教室の開催…小学校や地域の要請を受け 年6回程度、環境学習のみえっ粉教室を開催。せ っけんの使用の輪の拡大を図っている。 ・他団体等の視察の受入…工房で作る石けんの品質 が良いとの評判で、製造工程の視察に市外から年 間10団体くらいが訪れており、積極的に受入れ ている。 ・その他…ミニコンサートを盛り上げるため廃油で 作ったキャンドルを灯したりするなど大分県の実 施するごみゼロおいたキャンペーンに他団体と ともに参加している。  ○平成18年4月：ごみゼロおいた作戦功労者顕彰（知事感謝状）

県別	氏名	活動内容		功 績
札幌市	<p>市立札幌病院ボランティアの会 “やさしさ・ジェントル” (しりつさっぽろびょういんぼらんていあ のかい“やさしさ・じえんとる”)</p> <p>代表者 向井 和恵</p>	<p>活動 従事年数 年間活動日 活動範囲</p>	<p>植樹や植花などの緑化活動 11年 200日程度(4~11月) 市立札幌病院敷地内 及びその周辺</p>	<p>市立札幌病院ボランティアの会“やさしさ・ジェントル”は、市立札幌病院の新築移転に伴って発足した団体であり、現在、ボランティアとして活動している構成員は約120名(年間活動者約400名)です。同会のメンバーは、10代から90代までの幅広い年齢層で構成されており、「やさしさを花束にして」を合言葉に、外来患者の案内や、入院患者のお手伝い、院内で行われるコンサートなどの催し物など、患者やその家族が病院で快適に過ごせるようにと日々活動しています。</p> <p>なかでも、緑化を主体とする環境美化活動においては、もっと沢山の花で彩りたいとの思いから、会員の方が花を持ち寄って植花したのをきっかけとして、今では院内はもちろん、敷地内やその周辺に至るまで活動を広げており、癒しと安らぎの環境づくりを目指して会の中に園芸部を設け、花苗づくりや植花作業、灌水や除草などの維持管理作業をおこなっています。</p> <p>屋外に彩られた庭は、来院者の目を楽しませてくれるだけでなく、みどり豊かでうおいのあるオープンスペースとして親しみを感じてもらっているほか、患者の歩行訓練(リハビリ)や季節感あふれる植物をとおして心を開き治療の手助けをするために設置された「シーズナルガーデン」、触れることで植物の生きた触感を直接五感に感じさせることができる「タッチガーデン」など、植物を育てる作業や美しい植物そのものを通して肉体的な機能を回復させたり、メンタル的なリハビリテーションをおこなう園芸療法の役割も担うよう工夫されています。</p> <p>また、当会の活動は、会員からの会費や病院に勤務する職員有志の寄附だけでなく、病院周辺の地域の方や病院に来られる方から花苗や園芸資材の提供を受けたり、夏休みには市内の中・高・大学生などが作業の手伝いに来るなど、この活動は会員以外の市民ボランティアにも支えられおり、これらの活動が認められて「北海道花いっぱいコンクール最優秀賞」などの数々の賞を受賞しております。</p> <p>○平成17年：社会貢献表彰(札幌市長)</p>

県別	氏名	活動内容		功 績
川崎市	石橋 榮次 (いしばし えいじ)  自営業	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	公園・道路等の清掃活動、河川等の美化活動、緑化推進活動、美化思想の普及啓発活動 20年間 年15回程度 小杉町1丁目町会を中心に小杉地区及び中原区全域	氏は、町内会の副会長に就任以来、約20年間にわたり町内会の公園清掃や除草、道路清掃及び路上違反広告物の除去等美化活動において、指導力を存分に発揮し、地域の環境美化に尽力してきた。 また、現在も委員を務める川崎市美化運動実施中原支部では、「多摩川美化活動」、グリーンなかはらキャンペーン」に積極的に参加するなど、区内全域の環境美化にも大きく貢献した。  ○平成15年度神奈川県美化運動推進功労者表彰
川崎市	田辺 富夫 (たなべ とみお)  川崎市美化運動実施川崎支部 田島地区地区長	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	市内統一美化活動 田島地区統一美化活動他 11年 25回 小田4丁目町内会地域を中心に田島地区全域	氏は平成7年に小田4丁目町内会長・川崎市美化運動実施川崎支部田島地区の理事に就任以来、地域の美化清掃活動に熱心に取り組んでいる。氏は町内会での清掃活動はもちろんのこと、「市内統一美化活動」等、田島地区の住民と企業労組・団体の協力を得て大規模な清掃活動を毎年実施している。また研修会を催して、地域の緑化活動にも励んでいる。 その取り組み姿勢に対して、地域住民から絶大な信頼を集め、また美化意識の向上に日々努めている。  ○平成17年度神奈川県美化運動推進功労者表彰
川崎市	川邊 マサ (かわべ まさ)  川崎市美化運動実施高津支部会計	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動、多摩川美化活動、市内統一美化活動、区民祭ゴミだしマナーアップ運動、ポイ捨て禁止キャンペーン 11年間 20日 川崎市高津区全域	川邊氏は、多年にわたり川崎市美化運動実施高津支部美化推進委員として、地域住民の美化に対する意識を高める事に尽力されている。さらに、平成10年からは川崎市美化運動実施高津支部役員として、多摩川美化活動、市内統一美化活動、ポイ捨て禁止キャンペーン等を積極的に推進し、区民の美化活動に対して理解を深め、高津区全域の美化活動の活性化のため努力されている。 また、平成17年度から川崎市美化運動実施高津支部で20万人ほどの参加者がある高津区民祭においてゴミ出しマナーアップ運動を始めたが、この運動にも積極的に参加し、川崎市美化運動実施高津支部についての啓発活動を行った。 これらの活動を通じ、地域住民の美化意識を高めることへの貢献はまことに多大である。  ○平成18年度神奈川県美化運動推進功労者表彰

県別	氏名	活動内容		功績
川崎市	志田 美恵子 (しだ みえこ)  川崎市美化運動実施 宮前支部 美化推進委員	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃活動、植栽・草花の配布 環境美化啓発活動 11年 支部活動年間6回 宮前区内の公園・沿線道路・ ポイ捨て禁止重点区域・多摩 川等	志田美恵子氏は平成8年に川崎市美化運動実施宮前支部美化推進委員に就任以来10年以上にわたり、地域の美化活動に積極的に取り組んでいる。多摩川美化活動や市内統一美化活動はもとより、地域の公園の清掃、地域内道路の清掃などにも熱心に取り組むとともに、公園内に花を植える等、環境美化に大きく貢献している。 また、ポイ捨て禁止キャンペーン等の啓発活動にも積極的に参加し、多くの方々に環境美化を呼びかけるなど環境美化に尽力された功績は極めて大きい。 ○平成18年度神奈川県美化運動推進功労者表彰
名古屋市	名古屋市立八熊小学校 (なごやしりつやぐましょうがっこう)  代表者 校長 浅井 孝一	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	堀川の清掃、浄化活動、調べ学習 7年 授業及び地域と連携 堀川周辺	平成12年の「堀川を考える小学生の集い」の参加が契機となり、学区にある堀川をもっとよく知って浄化しようという動きが始まった。ここから児童たちによる堀川のゴミ清掃やヘドロを取り除こうという運動につながっている。特に5年生が中心となりヘドロを採集し、堀川やそこに住む生物にどれほど悪影響がでるのかを酸素の濃度を調べたりして学習している。 また、ヘドロを採集する道具も試行錯誤して、靴下やストッキングですくう方法を見つけ出しました。平成16年には、堀川の環境浄化の取り組みを行なっている「堀川1000人調査隊」にも参加して堀川の水質調査をするなど、浄化活動に取り組みました。平成18年度は、こども環境会議において本校の児童会長が全国の政令指定都市から集まった子どもたちの前で発表を行いました。今後は美化活動、浄化活動、調べ学習をしながら、その成果をもとに地域にポスターの掲示などで「堀川の環境美化」を呼びかけの展開を考えている。
京都市	田畑 昭三 (たばた しょうぞう)  桂坂自治連合会副会長	活動 従事年数	美化清掃活動 19年9ヶ月	被推薦者は、昭和63年4月の桂坂かえで自治会発足当時から中心となり、同年に毎月1回の「クリーン作戦」を立ち上げた。平成元年8月の桂坂自治連合会の設立以後、「クリーン作戦」を桂坂学区内の全自治会に発展拡大させるべく呼び掛けを行うなど、同活動の継続発展のために中心的役割を果たした。 平成2年に桂坂学区自治連合会の主催で「桂坂統一ふれあいクリーンデー」を発足させるに当たり、その企画や準備、住民の動員などに加えて、まち美化事務所など行政機関との連携役を務めるなど積極的に先頭に立って活動を行ってきた。現在も「桂坂統一ふれあいクリーンデー」のために、小学校や中学校、各施設に対して参加要請を行うなど清掃活動の継続に貢献している。 その結果、「桂坂統一ふれあいクリーンデー」は、5月と11月の年2回に、毎回2,500名以上もの住民が一斉に、ふれあいを大切にしながら自分達のまちを、より美しくしようと参加する行事として定着するまでに至った。 以上のように、被推薦者の功績は顕著であり公園や道路を含めた美しい桂坂の形成と、住民への環境美化啓発と普及に多大な貢献をしており、地域環境美化功績者表彰の推薦基準に該当するものといえる。  ○平成12年6月：京都府環境保全功労者表彰受賞

県別	氏名	活動内容		功績
京都市	京都市立桂東小学校 (きょうとしりつかつらひがし しょうがっこう)  代表者 校長 新田 正	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	地域清掃活動 環境教育の取組実践 11年間 月1回程度 桂東小学校区	<p>京都市立桂東小学校では、地球環境の保全が人類共通に最重要課題のひとつであることを認識し、全校で教育と実践を通じて環境にやさしい学校づくりに取り組むことを基本理念として、次のような活動を行っている。</p> <p>①平成8年5月から毎月1回、地域や保護者の方々とは一体となって全校児童挙げての地域清掃活動（グリーンスクール）に取り組んでいる。この活動は、住民の地域美化に対する意識を喚起することとなり翌9年からの桂東自治連合会による「門掃き運動」という形となって結実し、当連合会は、京都市美化推進条例の「まち美化住民協定」の認定団体第1号に選定された。</p> <p>②平成17年4月には、桂東エコ・グリーン宣言を作成し、保護者等校外にも公表するとともに、全教職員に周知し、また児童には児童会採択の環境宣言を周知するなど、環境啓発活動を展開している。</p> <p>③地域の環境改善活動等に積極的に参加している。</p> <p>④このほか、省エネモデル校として省エネ・省資源意識の向上に努め、環境教育カリキュラムを作成し児童の興味・関心を引き出すように体験学習を重視したプログラムを展開している。平成17年度には「桂東小学校省エネ共和国」を建国し、電力使用量前年度比3%削減を目標に節電に取り組むなど、すべての児童・教職員が教育・学習活動において、環境にやさしい行動が定着することを目指して、環境保全の継続的な改善に取り組んでいる。</p> <p>地域清掃活動をはじめとした同校の取組は、地域美化に大いに貢献するとともに、その誠意のこもった活動が、奉仕活動の模範として地域住民に多大の好影響を与えているといえる。</p> <p>○平成18年6月：京都府環境保全功労者表彰受賞</p>

県別	氏名	活動内容	功績
京都市	京都市立神川中学校 (きょうとしりつかみかわちゅうがっこう)  代表者 校長 廣瀬 公昭	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲  地域美化活動 環境教育の取組実践 約10年間 年2回程度 神川中学校区	京都市立神川中学校では基本目標の一つに「人権意識の高揚」を掲げ、「学校、地域、さらには地球規模における環境問題を見つめ、改善に努める精神を育む」ことを重点に取り組んでいる。地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、環境教育・学習を通じて、環境を守る大切さを学び、環境にやさしい学校づくりを積極的に進めている。 とくに、全校をあげて地域住民と一体となって清掃活動をはじめとする環境保全活動を積極的に推進し、環境美化に貢献するとともに、清掃活動を通じて、自分の住む地域の美化や環境保全に対する意識の向上と実践的態度の育成を図っている。  ①ゴミゼロの日(5月30日)を地域清掃活動の日として、この活動を「ハートフル神川」と呼び、環境委員会を中心に家庭や地域と協力しながら積極的に地域の清掃に取り組んでいる。  ②生徒が栽培、育成した花苗を地域に配布するとともに、プランターに植えて地域の各所に設置し、潤いのある地域づくりに貢献している。  ③地域生徒指導連絡協議会主催の地域一斉クリーン活動(11月25日ごろ)には、部活動を中心として多くの生徒・教職員・PTA関係者などが積極的に参加している。  ④「クリーンアップ神川」として校内清掃活動強化日を設定し、校内美化に努めている。  ⑤建築廃材をリサイクルとして木のおもちゃを作り地域の保育園、児童館にプレゼントするなど環境保全、ボランティア活動を行っている。  ⑥夏季には、グリーンカーテンの取組を試行するなど校内の緑化を進めて室温を下げ、クーラーの使用を減らすなど省エネに努めている。  ○平成14年6月：京都府環境保全功労者表彰受賞
京都市	西大路駅周辺を美しくする会 (にしおおじえきしゅうへんを うつくしくするかい)  代表者 会長 木浦 正雄	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲  地域清掃活動、緑化活動 環境美化に関する活動 9年5ヶ月 毎週水曜日(年48回程度) JR西大路駅周辺	当会は、京都市と「まちの美化推進住民協定」を締結し、さらには国土交通省のボランティア・サポート・プログラムに基づき、国・京都市・会の3者による協定(「クリーン インターセクション 西大路九条」)を締結し、毎週1回(年48回程度)交通違反受講者の社会参加者を10名程度受け入れ地域住民・企業・行政が一体となり西大路駅周辺での清掃活動を実施している。また、路上違反広告物撤去の一部権限を市長から委譲される「京都市はり紙等違反広告物除却活動員」に認定されている会員は、違反広告物の撤去もあわせて行い、より美しいまちとなるよう美化推進に貢献している。また、自転車駐車場の管理を受託し、高い利用率を確保するとともに、放置自転車の啓発・整理・実態調査を行い、放置自転車の大幅な減少にも貢献している。 なお、小学校の「プランター花一杯運動」の支援中学生のチャレンジ体験学習受け入れなど、学区内の青少年育成活動にも尽力し、豊かな人間性とたくましく思いやりのある心の育成に貢献しているとして、京都市自治記念式典において、京都市から感謝状を贈呈されている。
大阪市	中田 盛次 (なかた もりつぐ)	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲  美都島本通の美化活動 12年 毎月1回 都島本通1~3丁目	昭和50年10月に結成された西都島老人クラブ道路愛護会の総務として平成7年から会長を助け、平成15年からは会長として、愛護会の先頭に立って道路の美化環境浄化に努めてこられた。  ○平成17年度道路・河川・公園等における保全、美化運動功労者市長表彰受賞

県別	氏名	活動内容		功績
大阪市	文の里駅前道路愛護会 (ふみのさとえきまえどうろあいごかい)  代表者 濱口 正治	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	地下鉄文の里駅周辺の通路 植え込み等の清掃美化 26年7ヶ月 毎週2回 地下鉄文の里駅及び阪神高速道路 文の里ランプ高架下通路、植 込み、自転車置き場等	道路の清掃を行い地域の環境美化の維持に努めてこられた。美化、美徳意識向上に対する功績は、模範として極めて大きいものである。  ○平成17年度道路・河川・公園等における保全、美化運動功労者市長表彰受賞
広島市	村田 貞子 (むらた さだこ)	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	清掃 54年間 毎日 公園及びその周辺	54年間にわたり、舟入第二公園及び公園北側道路、側溝の落ち葉や捨てられたごみ類を拾い集めるなど早朝から清掃を行い、公園及びその周辺の環境美化に努めている。  ○平成16年12月：広島市環境美化功労者表彰（環境美化永年活動10年表彰）
北九州市	到津八幡公園愛護会 (いとうづはちまんこうえんあいごかい)  代表者 会長 平山 政智	活動  従事年数 年間活動日 活動範囲	公園清掃、除草、花壇の手入れ 花木の育成等 36年 週3回、年144回 到津八幡公園内	当愛護会は、昭和45年より活動を開始し、老人会及び自治会の関係者で構成され、公園の清掃、除草、花木の手入れ等を行っている。週3回の定期的な活動により、グラウンド部分を中心に清掃、除草が行き届いており、公園全体に清潔感がある。 会長である平山氏は、公園愛護会制度発足の提唱者であり、また、公園愛護指導員として、地域の子供や校区の小中学生に美化活動を通じて、緑の重要性、マナーの大切さを指導している。 到津八幡公園の美化、保全に関して多大な貢献をおこなっており、長期にわたる地道な活動は他の愛護会の規範となるものである。  ○平成8年10月；北九州市都市緑化功労者市長表彰

県別	氏名	活動内容	功績
関東事務所	小日向 孝 (こひなた たかし)  NPO法人新潟県山野草をたずねる会・植生研究会理事長 NPO法人新潟県環境カウンセラー協会理事	活動 従事年数 年間活動日 活動範囲	植樹、植栽等の緑化活動 24年 年間計画・随時 新潟県内及び関東圏
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和46年4月～平成2年4月：環境美化と命のつながりを活かす学ぶ喜びと生きる力を育てる花壇作りを推進、全国花いっぱいコンクール学校の部に参加、県債優秀賞、特選賞入賞を指導</li> <li>・昭和58年4月：新潟県三島郡与板町立与板小学校環境保全林ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・昭和59年10月：新潟県見附市立上北谷小学校の森設計、植樹技術指導</li> <li>・昭和63年3月新潟県長岡市立川崎小学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成1年5月：新潟県小千谷市立小千谷小学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成4年10月：新潟県北魚沼郡小出町立伊米ヶ崎小学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成6年10月：新潟県長岡市立江陽中学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成8年6月：新潟県長岡市平和の森公園ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成8年10月：新潟県三条市川瀬神経内科クリニックの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成9年10月：新潟県十日町市立南中学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成12年8月～平成16年6月：新潟県長岡市悠久山公園蒼紫の森再生植樹技術指導</li> <li>・平成13年4月：新潟県北蒲原郡聖籠町立聖籠中学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成13年9月：新潟県見附市立葛巻小学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成14年3月：新潟県北蒲原郡紫雲寺町立米子小学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成14年9月：新潟県見附市立裏館小学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成14年11月～平成18年10月：長岡市八方台休眠センター跡地自然回復ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> <li>・平成15年3月：静岡県立浜松城北工業高等学校ふるさとの森設計、植樹技術指導</li> </ul>